

## 講師プロフィール



てらだ よしたか  
寺田 吉孝

ワシントン大学音楽部（民族音楽学科）博士課程修了。PhD。現在、国立民族学博物館学術資源研究開発センター教授。1980年代より、アジアの伝統音楽と欧米のアジア系移民社会の音楽実践の研究に従事している。特に、周縁化された集団が自己表現の手段として演奏する音楽に関心がある。

著書に『音楽からインド社会を知る—弟子と調査者のはざま』（2016年）、編著書に*Music and Society in South Asia: Perspectives from Japan*（2008年）、*Ethnomusicology and Audiovisual Communication*（2016年）などがある。また、映像音響メディアに興味をもち、番組の制作を行いながら、音楽研究や伝統音楽の保全・活性化に果たしうる役割を検討している。制作番組に、*Guitars of Portugal*（2014年）、『怒—大阪浪速の太鼓集団』（2010年）、『バレンシアの聖母マリア誕生祭と管楽器ドゥルサイナ』（2009年）など。

2013年より、国際伝統音楽学会 International Council for Traditional Musicの理事を務めるほか、音楽学会誌*Asian Music*（米国）、*Ethnomusicology Forum*（英国）などの編集助言委員を兼任している。